平成23年11月８日

各　位

会 社 名　　株式会社イクヨ
代表者名　　代表取締役社長　平川　滋
（コード：7273　東証第２部）
問合せ先　　管理統括部 経理グループ
シニアマネージャー 住吉 尚之
（TEL. 046－285－2046）

固定資産の譲渡に伴う特別損失の計上及び平成 24 年３月期　第２四半期累計期間業績予想と実績との差異の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年７月27日に発表しました、当社の100％出資子会社である㈱アイケイモールドに関する「連結子会社の固定資産の譲渡及び連結子会社との合併等に関するお知らせ」において、 未定としておりました固定資産（土地・建物）の売却に伴う整備工事等について、現時点見込まれる費用について報告いたします。なお、整備工事費用等については、現在見積り中であり、今後合理的に費用の見積が集計できた段階で、速やかに別途公表いたします。また、平成23年５月13日に公表した平成24年３月期（平成23年４月１日～平成24年３月31日）の第２四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に下記の通り差異が生じましたので、上記と併せてお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上およびその内容

当社が、平成23年７月27日に発表しました、当社の100％出資子会社である㈱アイケイモールドに関する「連結子会社の固定資産の譲渡及び連結子会社との合併等に関するお知らせ」において、未定としていた売却に伴う整備工事について、現時点見込まれる売却に伴う取引手数料等15百万円を譲渡損145百万円と合わせて、下記のとおり関係会社整理損として計上いたします。

①固定資産譲渡損　　　　　145百万円
②売却に伴う取引手数料等　 15百万円
　関係会社整理損　　　　　161百万円

２．平成24年３月期　第２四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異

平成24年３月期　第２四半期連結累計期間　（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	3,989	△86	△217	△225	△14円67銭
実績値（B）	4,463	260	128	△113	△7円40銭
増減額（B－A）	474	346	346	111	7円27銭
増減率（％）	11.9	－	－	－	－
（参考）前期連結実績（平成23年３月期第２四半期）	5,926	328	208	186	12円18銭

平成24年３月期　第２四半期個別累計期間　（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	3,919	△234	△239	△15円64銭
実績値（B）	4,404	88	6	0円43銭
増減額（B－A）	484	323	246	16円07銭
増減率（％）	12.4	―	―	―
（参考）前期実績（平成23年３月期第２四半期）	5,087	211	190	12円43銭

３．差異の理由

売上高につきましては、自動車業界においては、震災後は部品調達などが難航し、完成車の生産が停止するなど、大幅な減産が発生しましたが、その後、徐々に回復の兆しを見せ始め、生産の遅れを取り戻すため、段階的な増産体制に入っており、トラック及び海外向けの乗用車の輸出がアジア市場を中心に堅調に推移しました。

これにより当社グループの生産も順調に推移し、工場生産性の高まりとともに営業利益が改善し、平成23年５月13日発表の予想値を上回る結果となりました。このことにより経常利益、四半期純利益も同様に上回る結果となりました。

また、連結子会社の固定資産の譲渡に伴う譲渡損については、関係会社整理損として特別損失に161百万円計上しております。

なお、平成24年３月期通期の業績予想につきましては、世界的な金融不安や最近発生した自然災害による各企業の海外生産拠点での減産、操業停止等、為替レートの推移、原材料価格の変動等が極めて不透明なため、見通しがつき次第、公表いたします。

個別業績につきましても、連結業績と同様の理由により、売上高、経常利益、四半期純利益ともに前回発表予想を上回る結果となりました。

以　上